

(別添)

令和3年6月15日
小浜市民生部環境衛生課

小浜市国富地区の野外コウノトリのヒナの足環装着までの経緯及び性別判定について（補足資料）

○ヒナが誕生したペア

オス：J0206 2018年兵庫県養父市生れ 愛称「誠」
(福井県飼育ペアのひ孫)

メス：J0196 2018年島根県雲南市生れ 愛称「はるか」
(福井県放鳥J0118の娘)

○ふ化からヒナの足環装着までの経緯

- ・2021年3月11日から小浜市国富地区にJ0222を含めた3羽で断続的に飛来。
- ・2021年3月下旬から国富地区のコウノトリ人工巣塔において、造巢・交尾行動といった繁殖行動が活発になった。4月3日までに産卵が始まり、4月4日に本格的抱卵に入ったと推定した。
- ・2021年5月6日 映像により親鳥がヒナに餌を与える吐き出し行動を複数回確認。ふ化したと推定
- ・2021年5月10日 ヒナの姿を映像で確認
- ・2021年6月18日 ヒナの足環装着（※43日齢）

(参考)

- ・同ペアの過去の繁殖履歴はありません
- ・小浜市内でのヒナ誕生は1964年（昭和39年）以来57年ぶり
- ・巣立ちにまで至れば、小浜市内でのヒナ巣立ちは1961年（昭和36年）以来60年ぶり

○足環装着について

足環を装着するヒナは、生後41日から45日齢とする。この理由として、生後41日程度を経過していなければ、巣立ち後の成長個体と比較し足の成長が不十分で、適切な径のサイズの足環の装着ができない。また45日齢を過ぎると身体能力が高まり巣から落下する危険性が高まる。以上のことから、日齢を限定し足環を装着する。

○性別判定について

性別は、ヒナの羽毛を採取し、DNA鑑定をすることで判別される。鑑定には、2週間程度、必要となる。